

5. IPネットワーク（システム）について

(1)背景

家電業界では、1988年に稼動を開始した現行E-VANのネットワークや通信プロトコルについては、従来型のVANやJCA手順等のサービスを利用しています。

しかしながら最近ではEDI対象データが受発注だけでなく、納品・請求／支払・実売／在庫等に拡大する傾向にあります。これにより、ここ1～2年でデータ交換量が数倍になると予想されます。これらを現行の延長線に対応していくには、ネットワーク（VAN）料金の高コスト化・低速通信による非効率性の解消が課題となってきました。

(2)経過

財団法人家電製品協会では、日本電気大型店協会（NEBA）と共同で、新しいネットワークの検討を重ねてきた結果、IPネットワークのひとつであるNTTコミュニケーションズ（株）の「.com Exchange」の採用推進を2003年1月に決定いたしました。

これにより、流通企業・メーカー共に一つのネットワークサービスプロバイダーとの接続で全てのEDIデータ交換が可能になると共に、高速通信・利用料金の削減を享受できることとなります。

(3)概要

①現行E-VANのネットワークの課題

家電業界では、E-VANのネットワークや通信プロトコルについては、従来型のVANやJCA手順等のサービスを利用しており、次のような課題があります。

高いVAN利用料金

- ・各E-VAN事業者ともにJCA手順等の旧通信設備の維持コストの負担が大きく、結果としてVAN利用料金が高くなっている。
(事業者によっては、JCA手順等のサポートを完全停止するところもあり)

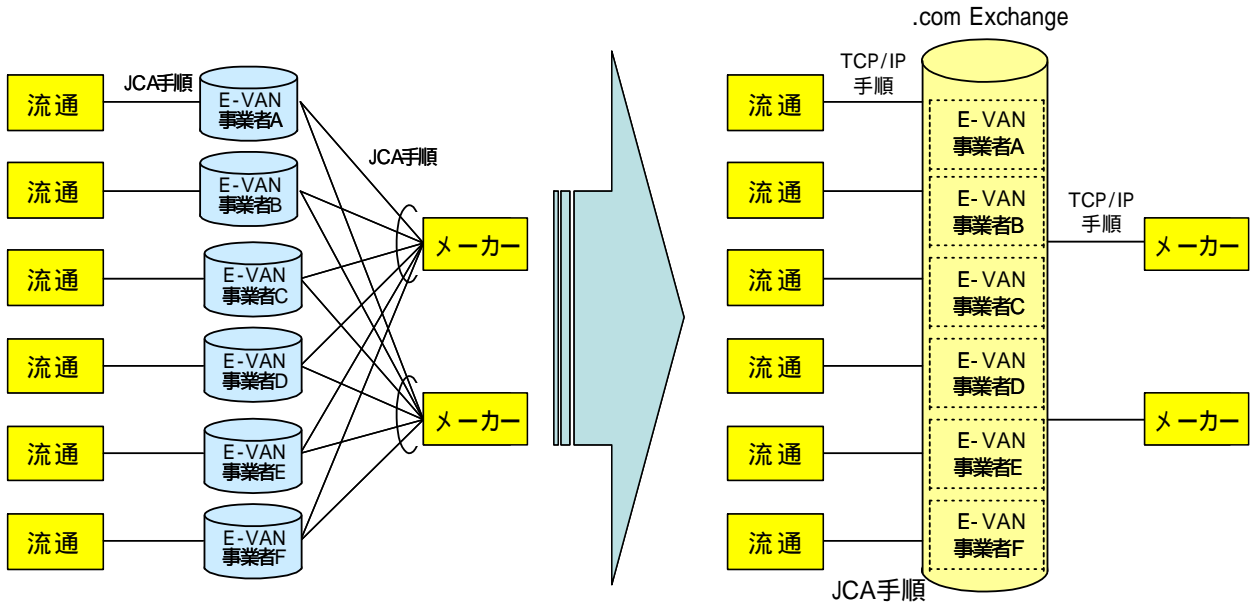
JCA手順等による低速通信

- ・JCA手順等の低速手順（2400～9600bps程度）が主流で、大容量データ転送への対応困難。

複数VAN業者への対応

- ・流通企業とメーカーが接続している全てのVAN事業者に各々接続する必要があり、結果として業界全体が高コスト構造になっている。

②新しいIPネットワークについて



▼IPネットワークのメリット

VAN利用料金の低廉化

- ・TCP/IP手順を利用することで、従来VAN料金よりコスト削減が可能。

TCP/IP手順による高速通信

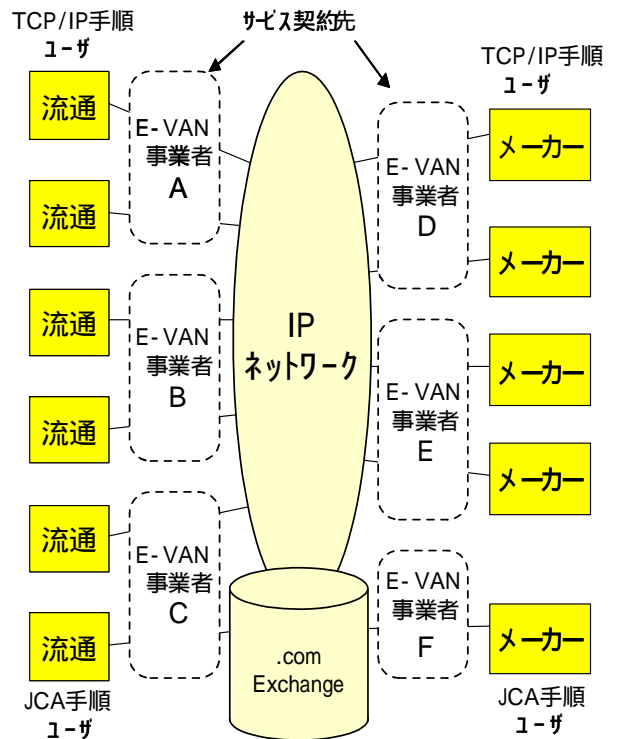
- ・2400~9600bps程度のJCA手順と比較して、64kbps以上の高速通信が可能。(通信時間の短縮)

高セキュリティ

- ・TCP/IP手順を利用に際しては、インターネットではなく、ビジネスユーザーのみに使用が限定された高セキュリティなIPネットワークを使用。

現行VANへの対応

- ・サービス契約として利用中のE-VAN事業者を選択することも可能(利用中のE-VAN事業者が.com Exchangeのサービスプロバイダーに加入されていない場合は、加入して頂くことになります)
- ・TCP/IP手順への切替が困難な場合はJCA手順による接続もサポート。



③利用拡大に向けた取り組み

多くの流通企業に利用いただくため、日本情報通信（株）及びネットワークサービスプロバイダー業者と共同で推進してまいりますので、相談いただきますようお願いいたします。

尚、詳細につきましては、日本情報通信株式会社までお問い合わせください。

IP ネットワークシステム（.com Exchange）のお問合せ先
日本情報通信株式会社
EDI事業本部 テクニカル サービス部
〒104-0044
住所：東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー15階
E-Mail：edi-service@NIandC.co.jp

余白ページです